

1. 社会人障害者を対象とした スポーツに関する調査

方法

【期間】:2019年7月～2020年1月

【対象】:本事業で実施しているスポーツ教室やスポーツイベント(事業2)に参加した学校卒業後の障害者

【内容】:スポーツ活動による社会参加や生涯学習への有効性、およびスポーツ活動の実態や課題等

【有効回答】:障害者19名、健常者15名

アンケート項目

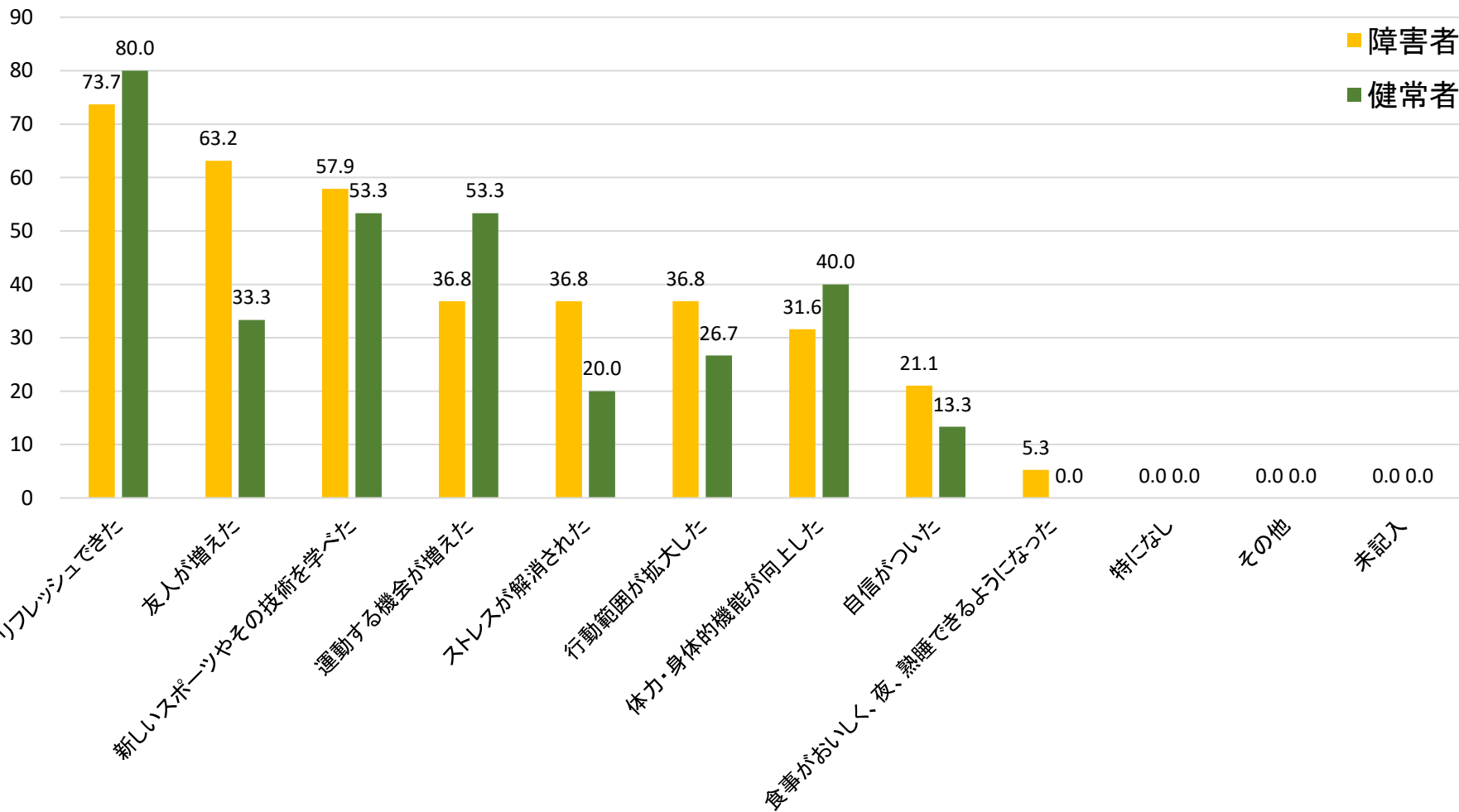
- 学校時代に行ったスポーツ・レクリエーション活動
- 現在、日常的にスポーツ・レクリエーション活動
- 理想的なスポーツ・レクリエーション活動の参加頻度
- スポーツ・レクリエーション活動する場合の活動範囲
- スポーツ・レクリエーションを行う障壁
- スポーツ・レクリエーションを行って良かったこと
- 今後、やってみたいスポーツ・レクリエーション種目
- スポーツ・レクリエーションを行う主な目的

アンケート調査結果

スポーツ・レクリエーション活動の有効性

(複数回答可)

(%)

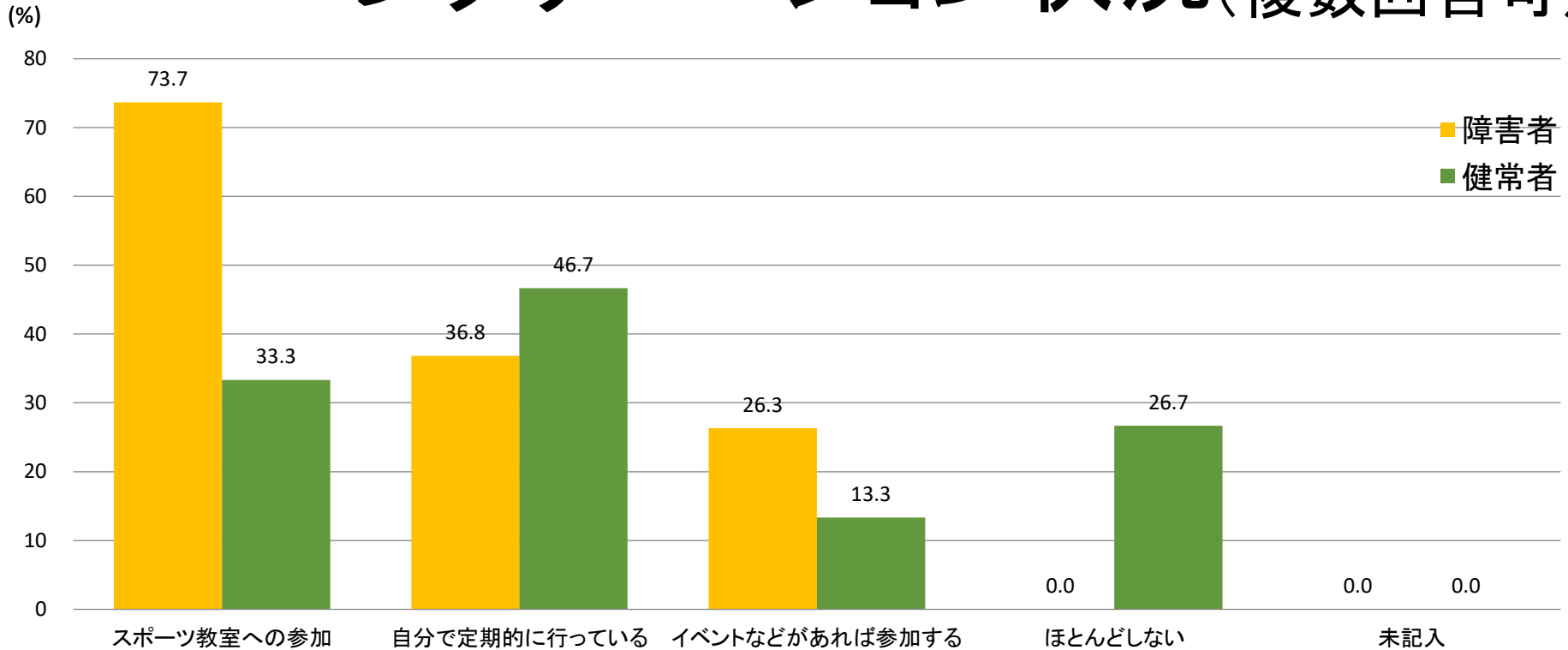


スポーツ・レクリエーション活動の有効性

(複数回答可)

「気分転換・リフレッシュができた」	： 14件 (73.7%)
「友人が増えた」	： 12件 (63.2%)
「新しいスポーツやその技術を学べた」	： 11件 (57.9%)
「運動する機会が増えた」 「ストレスが解消された」	
「行動範囲が拡大した」	： 7件 (36.8%)
「体力・身体的機能が向上した」	： 6件 (31.6%)

日常的なスポーツ・レクリエーション状況(複数回答可)



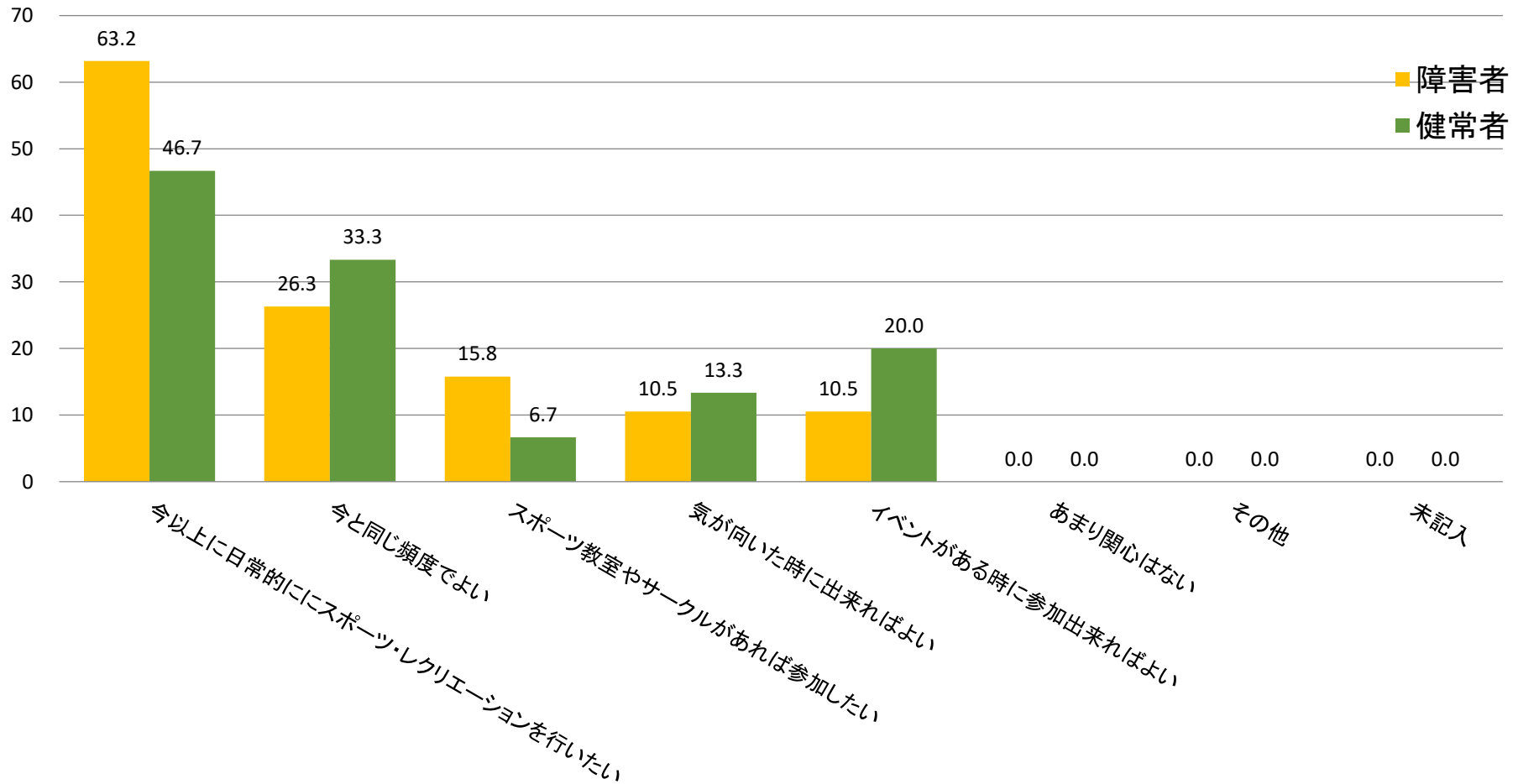
日常的なスポーツ・ レクリエーション状況(複数回答可)

「スポーツ教室への参加」	: 14件 (73.7%)
「自分で定期的に行なっている」	: 7件 (36.8%)
「イベントなどがあれば参加する」	: 5件 (26.3%)

日常的なスポーツ活動への意欲

(複数回答可)

(%)



日常的なスポーツ活動への意欲

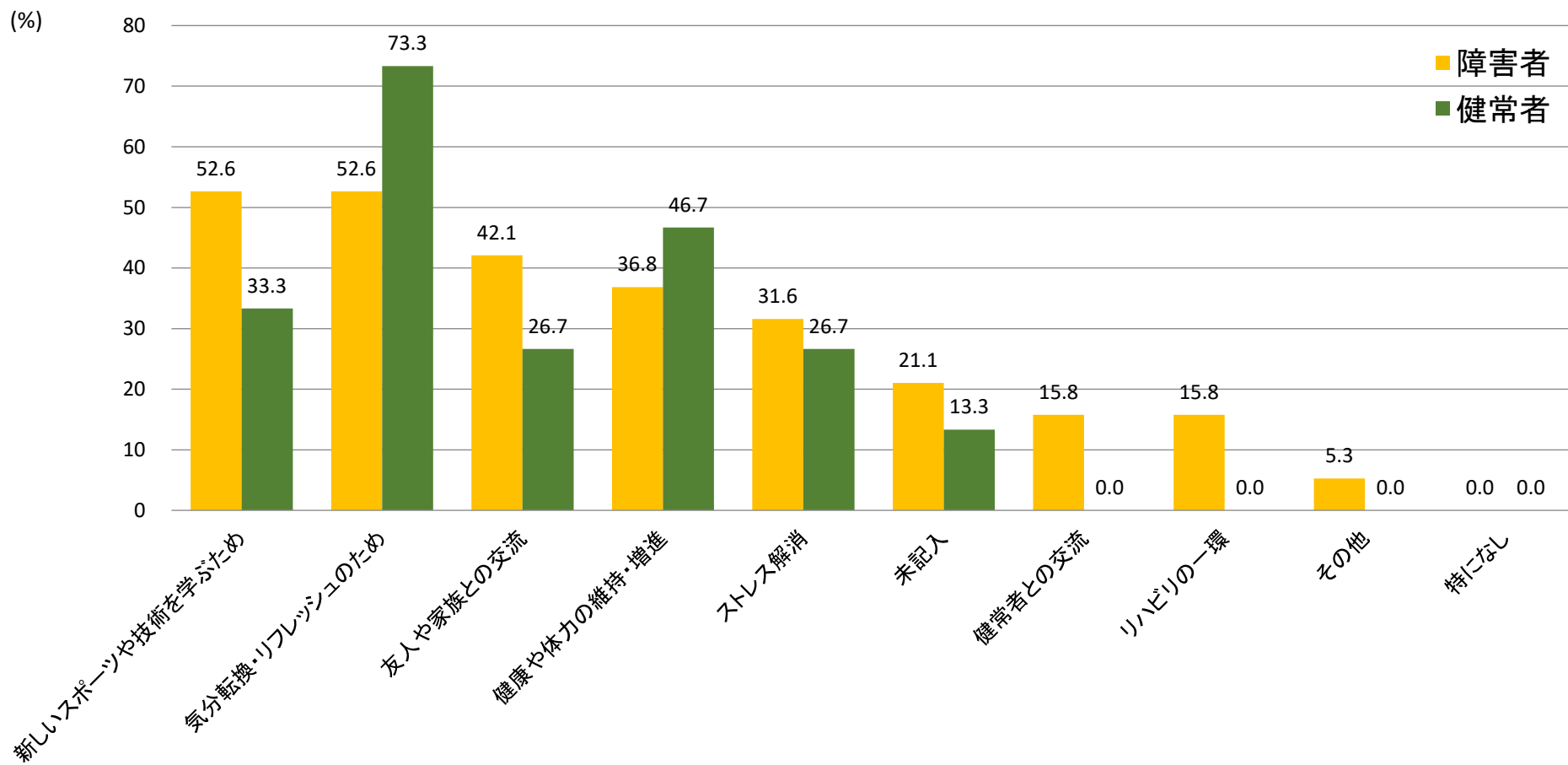
(複数回答可)

「今以上に日常的にスポーツ・レクリエーションを行いたい」
：12件 (63.2%)

「スポーツ教室やサークルがあれば参加したい」 : 3件 (15.8%)

スポーツ・レクリエーションを行う目的

(複数回答可)



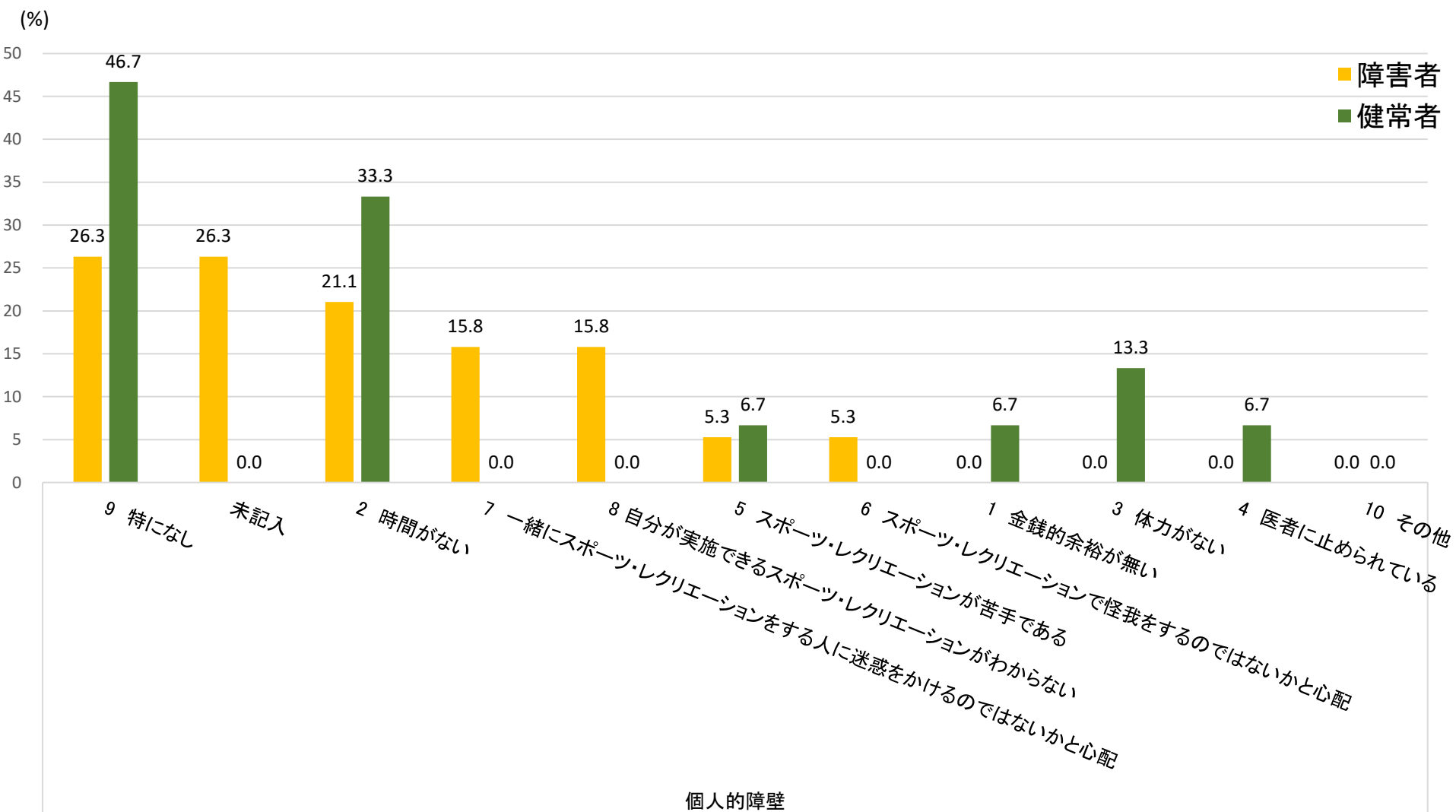
スポーツ・レクリエーションを行う目的

(複数回答可)

「新しいスポーツや技術を学ぶため」	
「気分転換・リフレッシュのため」	: 10件 (52.6%)
「友人や家族との交流」	: 8件 (42.1%)
「健康や体力の維持・増進」	: 7件 (36.8%)
「ストレス解消」	: 6件 (31.6%)
「未記入」	: 4件 (21.1%)
「健常者との交流」 「リハビリの一環」	: 3件 (15.8%)
「その他」	: 1件 (5.3%)

スポーツ・レクリエーション活動時の障壁 (個人的障壁)

(複数回答可)



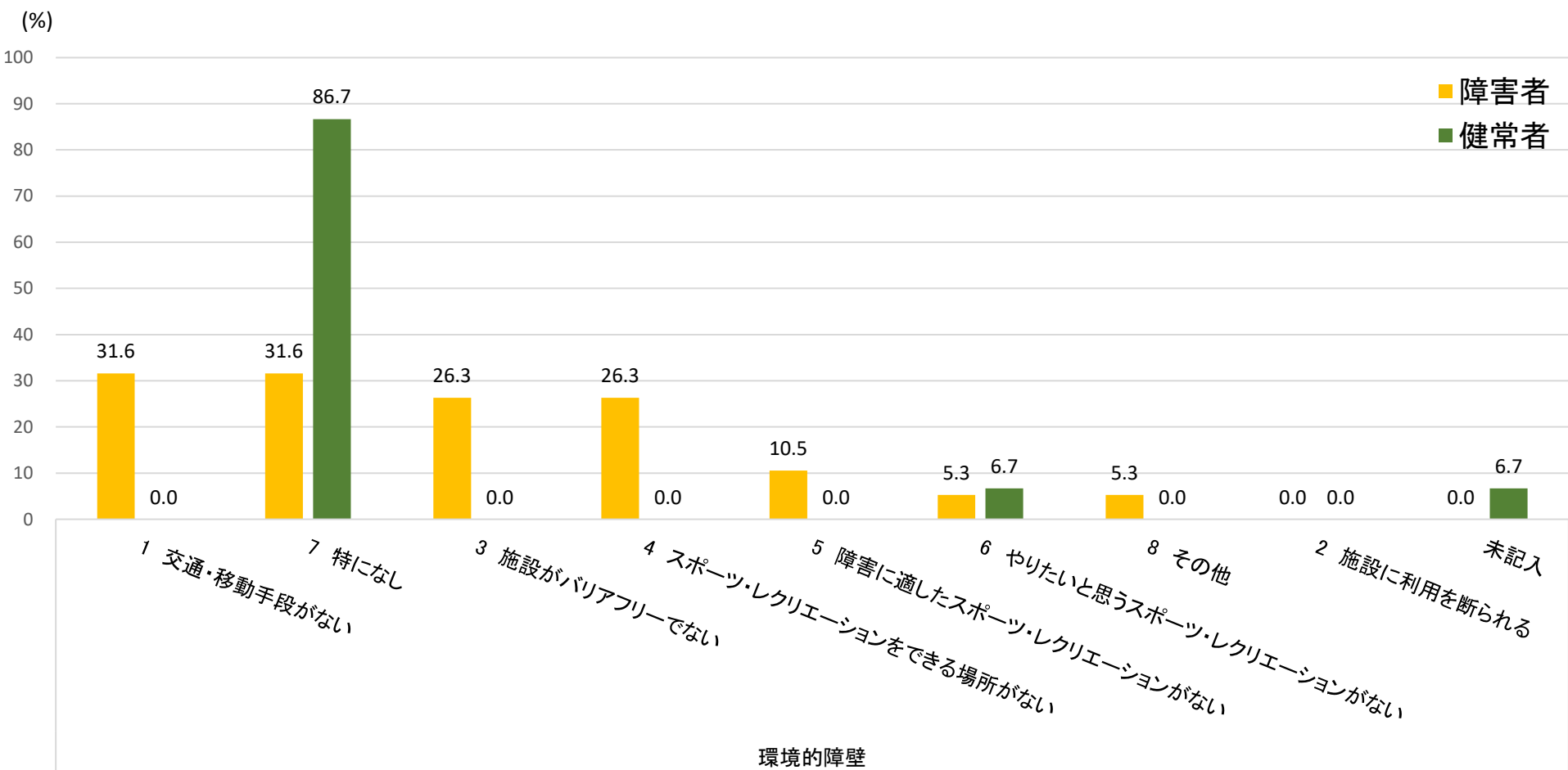
スポーツ・レクリエーション活動時の障壁 (個人的障壁)

(複数回答可)

「時間がない」	: 4件 (21.1%)
「一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に 迷惑をかけるのではないかと心配」	
「自分が実施できるスポーツ・ レクリエーションがわからない」	: 3件 (15.8%)

スポーツ・レクリエーション活動時の障壁 (環境的障壁)

(複数回答可)



スポーツ・レクリエーション活動時の障壁 (環境的障壁)

(複数回答可)

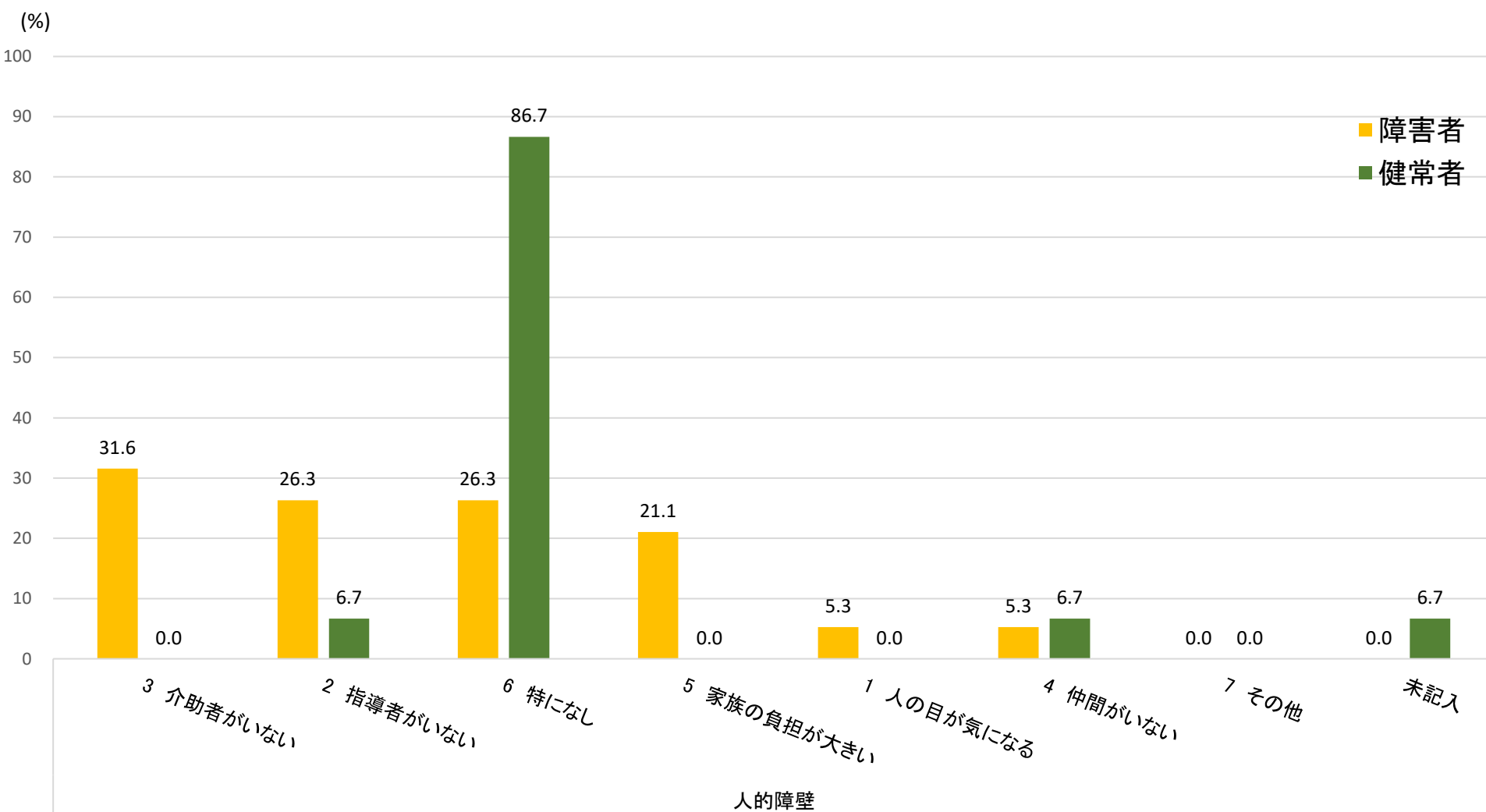
「交通手段がない」 : 6件 (31.6%)

「施設がバリアフリーでない」

「スポーツ・レクリエーションをできる場所がない」
: 5件 (26.3%)

スポーツ・レクリエーション活動時の障壁 (人的障壁)

(複数回答可)



スポーツ・レクリエーション活動時の障壁 (人的障壁)

(複数回答可)

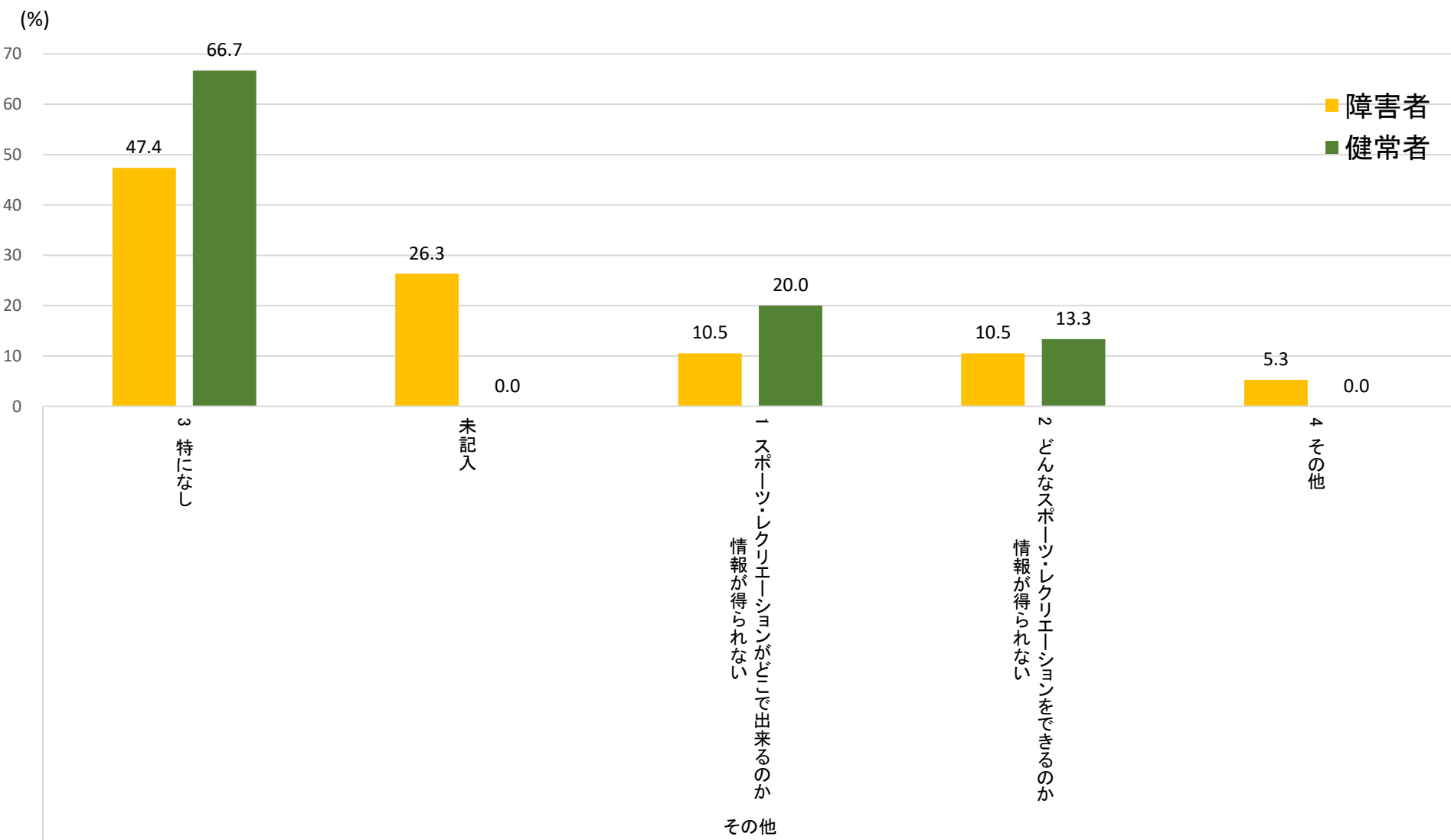
「介助者がいない」 : 6件 (31.6%)

「指導者がいない」 : 5件 (26.3%)

「家族の負担が大きい」 : 4件 (21.1%)

スポーツ・レクリエーション活動時の障壁 (その他)

(複数回答可)



スポーツ・レクリエーション活動時の障壁 (その他)

(複数回答可)

「スポーツ・レクリエーションが
どこで出来るのか情報が得られない」
「どんなスポーツ・レクリエーションを
できるのか情報が得られない」

: 2件 (10.5%)

障害者と健常者の比較

障害者(%)	項目	健常者(%)
スポーツ・レクリエーション活動の有効性		
63.2	友人が増えた	33.3
スポーツ・レクリエーション活動における障壁 【個人的障壁】		
21.1	時間がない	33.3
15.8	一緒にスポーツ・レクリエーションをする人に迷惑をかけるのではないかと心配	0
15.8	自分が実施できるスポーツ・レクリエーションがわからない	0
【環境的障壁】		
31.6	交通手段・移動手段がない	0
26.3	施設がバリアフリーでない	0
26.3	スポーツ・レクリエーションをできる場所がない	0
【人的障壁】		
31.6	介助者がいない	0
26.3	指導者がいない	6.7
26.3	家族の負担が大きい	0
【その他】		
10.5	スポーツ・レクリエーションがどこで出来るのか情報が得られない	20
10.5	どんなスポーツ・レクリエーションをできるのか情報が得られない	13.3

アンケート調査のまとめ

アンケート調査の結果から、障害者のスポーツ活動における、社会参加、生涯学習への有効性が明らかとなった。しかし、その反面で、スポーツ活動を行う上での多くの障壁も明確になった。障害者のスポーツ活動実施率を上げるためにも、「障壁」を取り除くための工夫が必要と考える。